

登園届

登園の際には、本登園許可書の提出をお願いいたします。
(なお、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります)

＜保護者記入欄＞		
すこやか未来保育園 園長殿		
クラス名 _____		組 _____
園児氏名 _____		さん _____
年 _____	月 _____	日 _____
日、医療機関名「 _____ 」に おいて		
病名「 _____ 」と診断されていましたが、		
(園児の症状: _____)は回復し、下記の登園め やすの事項を満たしたため、集団生活に支障がない状態と判断したので、登園いたします。		
年 _____		月 _____
日 _____		
保護者名(_____)		

保育園は乳幼児が、集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、ひとりひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。保育園入園児が、よくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけ医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、よろしくお願いいたします。

感染症名	主要症状	登園の目安
溶連菌感染症	発熱、咽頭痛、しばしば嘔吐を伴う。 時に粟粒大の発しんが出現。	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱、頭痛。 時に咳は徐々に激しくなる。	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	水疱性の発しんが口腔内、手、足に発症。 口内炎がひどく、食事がとれないこともある。	発しんや口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく 普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	頬の赤み。手足に網目状の紅斑が出現。	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ・ロタ等)	嘔気/嘔吐、下痢、発熱。	嘔吐、下痢等の症状が治まり、 普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	高熱、咽頭痛、のどの奥付近に水疱疹 や潰瘍形成。	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、 普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発熱、鼻汁、咳、喘鳴(ぜいぜい、ひゅ うひゅうという呼吸音)、呼吸困難	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成。	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発疹	38度以上の高熱。 体幹部を中心に鮮紅色の発しんが出現。	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと